

平成 28 年 2 月 5 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 7 回「水素安全対策高度化」特別専門委員会
開催日時	平成 28 年 1 月 19 日(火) 15:30~17:15
開催場所	三菱総合研究所 4 階 CR-A 会議室
参加人数	14 名 村松主査、門脇幹事、杉本委員、西村委員、小林委員、中田委員、新山委員、発表者 1 名、事務局 6 名
議 事	<ol style="list-style-type: none">1. 主査挨拶 村松主査が本特別専門委員会の今後の活動について説明を行った。2. 前回議事録確認 事務局が前回議事録の説明を行った。3. トピックス<ol style="list-style-type: none">1) 安全研究センターにおける格納容器熱水力研究に関する試験及び解析(JAEA 柴本)<ul style="list-style-type: none">・海外では水素の代替気体としてヘリウムが利用されており、本試験装置もヘリウムを利用して実験を行う。・今後、実機を睨んだ開発等を実施していく。4. 一般公開セミナーの準備状況<ul style="list-style-type: none">・フランス IRSN とドイツ FZJ からの講演内容は充実したものになる予定である。5. 全体討議<ul style="list-style-type: none">・一般公開セミナーは聴衆により関心を持ってもらうため、分かりやすい講演タイトルをプログラムに記載する。
備 考	

平成 28 年 2 月 5 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 6 回「水素安全対策高度化」特別専門委員会
開催日時	平成 27 年 11 月 27 日(金) 15:40~17:40
開催場所	三菱総合研究所 4 階 CR-F 会議室
参加人数	15 名 村松主査、門脇幹事、西村委員、奈良林委員、小林委員、中田委員、成宮委員、藤井委員、新山委員、発表者 1 名、事務局 5 名
議 事	<p>1. 主査挨拶 村松主査が本委員会の趣旨説明を行った。</p> <p>2. 委員自己紹介 各委員から自己紹介があった。</p> <p>3. 前回議事録確認 事務局が前回議事録の説明を行った。</p> <p>4. トピックス</p> <p>1) 過酸化金属による水素処理(東芝 岩城) ・処理により発生する熱量の冷却が重要であろう。</p> <p>2) 水素爆発事故-水素デトネーション(浜岡原発)と水素爆発(福島第 1 原発) (北海道大 奈良林) ・ベントを導入した場合、ベントを利用する手順の準備が重要であろう。 ・福島第一原子力発電所事故の爆発について、デトネーション・デフラグネーションの判断は困難であるが、今後検討し安全対策に貢献すべきである。</p> <p>5. 平成 27 年度の計画 村松主査が平成 27 年度計画の説明を行った。 事務局が一般公開セミナーの説明を行った。</p>
備 考	